

講義名	研究演習Ⅰ（全学部）				
講義コード	25227	授業形態		開講期・曜日・時限	後期 火曜日 5時限
担当教員	森脇 丈子			サンバリング・コード	
学部・学科				演習分野	
全学科				消費者問題視点からの生活経済分析	
概要説明					
私たち消費者は、どのように社会と関わりながら生活しているでしょうか。消費意欲をそられる消費者、収入を得るために働く労働者、企業を運営する経営者や幹部、退職した人、何らかの形で他者からの助けを受けながら生活する人などさまざまです。私たちの生活にとって、より安定的で快適な消費の形について、消費や労働の側面から研究していきます。 ☆適切な日本語の使い方、わかりやすいプレゼンの仕方、他者の話を聞き自分の考えを論理的に述べることのできる力、課題に必要な資料の探し方・活用の仕方を身につけていきます。テーマは、学生の関心のある領域をとりあげていきます。 ☆学内・学外での「実学」にぜひチャレンジしてください。					
主な卒業論文のタイトル					
・現代社会と『ゲーム依存』の密接関係性 ・ペットと共存していく方法 ペット産業や殺処分の現状から考えるー ・次世代自動車の可能性ー環境問題から考えて ・日本の空き家問題ー政策による空き家の増加抑止と再利用の考察 ・東京ディズニーリゾート～ホスピタリティがもたらす効果～ ・ストレス社会に打ち勝つ余暇生活 ・日本の漁獲量と消費量の推移について ・効率の良い筋トレトレーニング・健康的なダイエット ・生活習慣病と健康的な体作り ・台湾の問題と中米の関係 ・カーブの企業戦略と優勝・人気の理由 ・マラソンにおける効果的な練習と食事について ・音楽の成り立ちと現代音楽市場の状況					
教員よりの要望					
☆ 研究演習Ⅰは、対面授業です。必ず出席してください(遅刻厳禁)。やむを得ず欠席する場合には、前もって連絡をいれてください。無断欠席の場合には、「履修の意思なし」とみなします。その場合、単位の修得はできません。 ☆ ゼミでは、テーマを決めて議論をおこないます。ゼミでは、常に参加者の発言を求めますので、発言できるよう準備しておいてください。宿題をしたうえで、ゼミに参加してください。 ☆ 新聞記事や本を使って、内容を把握し、それを報告し、議論するといった流れで行います。そのため、普段の生活で活字やニュースに触れる場面を多くつくってください。 ☆ 筋道の通った話ができる人材になれるよう、訓練をしていきます。そのため、宿題がたくさんあります。努力して、挑んでください。					
選考方法					
1. 提出書類の内容 2. 面接（面接の際には「ゼミで何に取り組みたいか、どのような力をつけたいか」について教えてください。） の2点で選考します。 基本は、挨拶ができて時間を守る人、かつ、やる気のある人 であれば、受け入れOKです。 なお、毎週宿題をだしますので、宿題をしたうえでゼミに参加してください。 《注意》ゼミで議論に参加しない（発言しない）人、宿題をやってこない人、無断欠席をする人は単位が修得できません。					

評価方法	
1. ゼミへの出席 2. ゼミでの報告と議論への参加 による総合評価です。 《注意》ゼミに出席しているだけでは、合格点をもらえません。宿題をしてこない人、発言をしない（議論に参加しない）人、無断欠席をする人は、単位が修得できません。	
教員英字氏名	研究室
MORIWAKI Takeko	5411
最終学歴	
立命館大学大学院経済学研究科博士課程後期課程(単位取得満期退学)	
学位	
経済学修士	
主な研究活動・社会活動・研究業績	
・生活経済論、消費経済論 ・消費生活の日仏比較 ・フランスの小売業、地域に根づいた生産・消費共同体の調査・分析	
趣味・特技	
・街中散策、山歩き ・映画鑑賞 ・海外ニュースのチェック	
所属	
人間社会学部 人間社会学科	
所属学会	
・日本流通学会 ・日仏社会学会 ・日仏経営学会 ・経済理論学会 ・日本消費経済学会	
専門分野	
・生活経済論、消費経済論、社会経済学 ・生活様式論	
担当科目	
〈講義科目〉消費文化論、消費者問題論、NPO論、生活構造論、経済学入門、アミューズメント事業論 〈演習科目〉研究演習Ⅰ、研究演習Ⅱ、卒業演習 〈その他〉教養基礎 人間社会学会へのいざない、専門基礎演習、異文化理解	
備考	
上記のうち、〈講義科目〉(1行目記載)を、必ず一つ以上受講してください。	
実務経験の有無及び活用	